

おまえぎの自然 No.47

うみ・そら・かせ

みやもと かつみ
文と写真 宮本 勝海 さん



ハルリンドウ(リンドウ科)

春の陽を浴びて美しく咲くハルリンドウ。

よく知られているリンドウは秋の花ですが、この花は春に咲くので「春リンドウ」と呼ばれます。日当たりが良く少し湿った山野に生えますが、市内では限られた場所で見られませんが、草丈が10センチ程の小さな植物で、夏や秋に長く伸びる草を丹念に刈っておかないとハルリンドウは成長できません。

3月に入ると様々な花が一斉に花を開きます。ハルリンドウは3月中旬から咲き出し、4月下旬まで見られます。花冠（花びらの集合体）が2～3センチで青紫色のとても可愛い花です。中にはピンク色や白っぽいものもあります。

陽が昇り日光を受けると花を開き、夕方になると閉じます。朝日が当たるまで眠っていることから、遠州地方ではハルリンドウのことを「あさねんぼう」と呼んでいます。このような性質を「傾光性」といい、タンポポやハスも傾光性の花です。

この花のほかに春に咲くリンドウの仲間にフデリンドウとコケリンドウがあります。この2種は市内でまだ見たことがありません。季節の使者リンドウの仲間は残念ながら産地や個体数が減ってきていると言われています。

わたしたちと原子力

プルサーマル計画を地元4市で容認



協議会臨時会で受け入れを認める

で話し合っていたい」と述べました。水谷良亮浜岡原子力総合事務所長は「いただいた多くの声をしっかりと受け止め一つ一つ丁寧に対応するとともに、安全最優先、情報公開に心がけます」と決意を述べました。今後も中部電力に対しては「安心感を踏まえた地震対策」などを、国へは「厳格な指導と監督」などを求めていきます。

御前崎、牧之原、掛川、菊川の地元4市でプルサーマル受け入れの意思が出そろったことで2月21日、原子力広報研修センターで浜岡原子力発電所安全等対策協議会（4市対協）臨時会が開かれました。会議では、野崎副市長と隣接3市長が各市の状況について報告し、地元4市として正式に受け入れを容認しました。

石原市長は「プルサーマル計画の議論で各市から出された意見は、今後も4市

浜岡4号プルサーマル計画の主な流れ

- ▲プルサーマル計画公表（2005・9・13）
- ▲原子炉設置変更許可申請（2006・3・3）
- ▲原子炉設置変更許可（2007・7・4）
- △モックス燃料製造開始（海外）
- △モックス燃料製造完了
- △モックス燃料輸送
- △モックス燃料使用開始（2010年度から）